

# 第 14 回山本高校 100 周年記念事業準備委員会

## 議事録

---

---

### 会議情報

- 日時：令和 7 年 3 月 22 日（土）午後 3 時～
- 場所：山本高校同窓会館会議室
- 参加者：準備委員 参加人数：〇〇人

### 議事録

#### 1. 百周年記念事業の準備と進捗状況

- 百周年記念事業の進捗状況  
百周年記念事業の進捗状況について説明があり、記念式典、記念誌、食堂リニューアル、在校生支援、モニュメント作成、記念グッズ制作が主な事業内容として挙げられた。
- 議事録の共有方法  
議事録の共有方法について議論があり、メールでの共有が提案された。
- 食堂改修・カフェテラス化事業  
食堂改修・カフェテラス化事業についての説明があり、5000 万円の目標で進めることが決定。
- 設計と工事のスケジュール  
設計と工事のスケジュールについて、2025 年から設計を始め、2026 年に着工するプラン A と、2027 年に完成するプラン B が提案された。

#### 結論

- モニュメントの作成は必要ないと判断され、食堂リニューアルの予算は 5000 万円に決定。
- メールで議事録を送ることが決定。
- 設計事務所に依頼し、設計図書を作成することが決定。

#### 2. 式典準備と資金調達に関する計画と課題

- 式典の準備と資金調達  
式典の際に記念誌や DVD を配布する計画があるが、印刷に時間がかかるため、式典当日

には提供できない可能性がある。寄付金の集まり具合によっては、計画が遅れる可能性がある。

- **寄付金の集まりと支払い計画**

寄付金の集まり具合によって、支払い計画が変わる。A案では2026年5月から6月に支払いが発生するが、B案では1年の余裕がある。B案が現実的と考えられている。

- **設計と着工のスケジュール**

設計を先に進め、見積もりを取っておくことで、着工をスムーズに進める計画がある。2027年の夏に着工できるように準備を進める。

- **記念誌と記念品の扱い**

記念誌を1万円以上の寄付者に贈るかどうか、また記念品を寄付者に贈るかどうかを検討中。記念誌の費用は400万から500万と見積もられている。

### 3. 寄付金集めと記念グッズの提供に関する議論

- **寄付金集めと記念グッズ**

寄付金集めのために記念グッズを提供する案が議論された。寄付金の金額に応じて異なるグッズを提供し、感謝の手紙を添えることで仲間意識を高めることを目指している。

- **ロゴデザインの決定**

学校の食堂の改修工事や記念誌の表紙に使用するロゴデザインについて、6案が提案され、1番か3番の案を採用することが検討された。

- **記念誌の制作**

記念誌の制作について、学校側の意見を踏まえつつ、必要性が議論された。名簿の配布や記念誌の配布についても意見が交わされた。

#### 結論

1. 寄付金集めのために記念グッズを提供することが決定された。
2. ロゴデザインは1番か3番の案を採用する方向で進める。次回に他の案があれば提案していただく。
3. 記念誌は制作する方向で進める。

### 4. 在校生と卒業生の支援体制の構築

- **在校生支援の仕組み作り**

在校生の遠征費や用具購入の支援を目的とした仕組みを作る提案がありました。100周年を機に、同窓会が窓口となり、資金を集めて支援する体制を整えたいと考えています。

- **トイレ設備の改善**

在校生からのアンケートでトイレの改善要望があり、トイレの清潔さが学校選びに影響するとの意見もありました。

- **卒業生への支援**

卒業生が大学生やオリンピック出場時に支援を受けられる窓口を設けることが検討されています。

- **財源の確保**

100万円から1200万円の資金を集めることが目標で、長期的に続けられる仕組みを作ることが重要とされています。

- **支援基準の設定**  
全国大会出場などの支援基準を設け、誰が決定するかを明確にする必要があります。委員会や理事会の設立が提案されています。
- **運営と広報**  
在校生のニーズを卒業生に伝えるため、SNS や同窓会報を活用することが提案されています。
- **基金の設立か同窓会での運営か**  
基金を設立するか、同窓会の中で運営するかの選択が議論されています。基金は別組織が必要で、運営が複雑になる可能性があります。

## 5. 資金集めと広報活動の強化

- **資金集めの目的と方法**  
資金集めの目的を明確化し、具体的な金額目標を設定する必要がある。特に 60 歳以上の同窓生をターゲットにし、郵便局やコンビニでの振り込み方法を改善することが議論された。
- **ホームページの作成**  
百周年記念の専用ホームページを作成する計画があり、費用は 24 万 2 千円と見積もられている。ホームページでは会議の内容や寄付金の状況を更新する予定。
- **広報誌の作成**  
広報誌の作成にあたり、過去の先生や同窓生の活躍を紹介するための情報提供を求めている。特に同窓会の写真や記事の提供を呼びかけている。
- **実行委員会の規約**  
実行委員会の規約が必要であり、現在審議中である。国税局への申請に必要なため、準備を進めている。

### 結論

1. 60 歳以上をターゲットにした資金集めを進めることが決定された。
2. 専用ホームページを早急に作成することが承認された。

## 6. 山本高校の百周年記念に向けた準備

- **実行委員会の規模拡大**  
実行委員会を 100 人規模に拡大したいという提案があり、参加者に知り合いを誘うよう促された。
- **入学式と百周年記念**  
4 月 7 日の入学式に合わせて、2027 年に迎える山本高校の百周年を記念する横断幕を掲げる計画が話し合われた。間に合わなくても製作する方法で決定した。
- **体育祭での垂れ幕**  
5 月の体育祭に向けて、百周年の垂れ幕を作成し、父兄が来る際に掲示する計画がある（今年も体育祭は外部施設の利用決まっている）
- **参加者の役割と広報**  
会議参加者の役割を広報誌に掲載することについて議論があり、個人情報保護法の問題が指摘された。

## 次回の予定

- 1 議事録はメールで共有される
- 2 設計事務所に設計を依頼する
- 3 国税局への申請手続きを進める
- 4 次回の実行委員会は5月10日に開催予定
- 5 設計を進め見積りを早めに取得する。
- 6 記念誌と記念品の扱いについて意見を求める。
- 7 次回の準備委員会で意見を整理する。